

■教育・保育に係る目標事業量の変更について（案）

「子ども・子育て支援事業計画」で定める主要事業の目標事業量のうち教育・保育について、平成30年度以降、現行の目標事業量（確保方策）から変更となる事業量の時点修正を行います。

1. 変更の考え方

本市では、平成27年3月に策定した「枚方市子ども・子育て支援事業計画」において、子ども・子育て支援新制度への対応策や、各種ニーズ調査を踏まえた主要事業の目標事業量を定めており、本計画に基づき各種施策を推進しています。

なかでも、子育てと仕事の両立支援に向けて、保育所等利用待機児童（以下、「待機児童」という。）対策を最重要課題の一つと位置づけ、その解消を図るための取り組みを進めてきましたが、平成30年度当初において、いわゆる潜在的な待機児童を含め320人の待機が発生しました（国基準の待機児童は30人）。

本計画の主要事業のひとつである「1. 教育・保育」における量の見込み及び確保方策については、各年度当初における目標事業量を定め、進捗管理を行ってきました。また、平成29年度には、計画の中間年にあたる事から、国が作成した手引きに基づき、計画と実績との乖離状況について検証を行い、乖離が大きい項目について目標事業量の見直しを行ったものです。

平成30年度につきましては、昨年度に行った見直しを踏まえつつ、改めて実績との乖離などについて検証を行うとともに、今後予定されている公立幼稚園での3歳児保育の実施や、新制度への移行など、新たな要因を反映させる変更を行うものです。

2. 見直し後の検証について（量の見込み）

<市町村計画における量の見込み及び実績値（平成30年度）>

	1号	2号	3号		
			0歳	1・2歳	
量の見込み（A）	4,790	4,311	3,684	603	3,081
実績値（B）	4,942	4,433	3,625	512	3,113
乖離率（B/A）	103.17%	102.8%	98.4%	84.9%	101.0%

※ 平成30年度当初における、昨年度見直し後の量の見込みと実績値の状況は上記のとおりであり、現時点において大きな乖離は発生していないと考えます。

3. 目標事業量（確保方策）の変更について

昨年度の目標事業量の見直し後に新たに発生した以下の要因について、確保方策の見直しを行うものです。

① 公立幼稚園における3歳児保育の実施

平成31年度から公立幼稚園6箇所において3歳児保育を実施することに伴い、3歳児の定員を反映させるとともに、4、5歳児の定員についても現在の入所状況や3歳児保育の実施に伴う保育教室数の点などから見直しを行うもの。

<市立幼稚園の定員の推移（1号）>

園名	地域	平成30年度			平成31年度			
		4歳	5歳	合計	3歳	4歳	5歳	合計
樟葉幼稚園	北部	70	70	140	25	35	35	95
高陵幼稚園	中部	70	70	140	25	35	35	95
枚方幼稚園	南部	70	70	140	25	35	35	95
香里幼稚園	南部	70	70	140	25	35	35	95
蹉跎幼稚園	南部	70	70	140	25	35	35	95
蹉跎西幼稚園	南部	35	35	70	-	35	35	70
田口山幼稚園	東部	70	70	140	25	35	35	95
合計		455	455	910	150	245	245	640

② 新制度への移行について

私立幼稚園から幼稚園型認定こども園等への移行希望がある施設について、移行に伴う2号定員の設定及び、1号定員の変更について反映させるもの。

<対象施設・定員>

区分	地域	平成30年度			平成31年度		
		1号	2号	3号	1号	2号	3号
幼稚園型認定こども園への移行園	北部	295	-	-	180	20	-
新制度幼稚園への移行園	北部	380	-	-	210	-	-